

第3回

もっと幸せな医療研究会

テーマ：行動経済学・ナッジ理論から

同じ情報であっても、表現の方法の違いで相手の受け取り方が違ってしまったご経験はありませんか？

合理的な意思決定から外れてしまった判断をしてしまった経験はありませんか？

人間の意思決定には非合理的な部分＝バイアスが存在するといわれています。

自身がメンバーの意思決定のバイアスを知っていたならば、メンバーがより納得出来る意思決定を後押しすることが出来るかもしれません。

自身、メンバーと、どのようにコミュニケーションされていますか？今回は、ヘルスケア業界に従事されている方へ行動経済学の理論を使い、もっと幸せになる方法を事例をとおして皆さんと考えてゆきたいと思います。

日時

2023年4月26日（水） 19:00～20:00

会場

Web (Zoom) 先着**100**名様

会費

無料

講演 「ヘルスケア業界での 行動経済学・ナッジ理論」

演者：豊島 久雄

(日本経済大学大学院ファーマシーマネジメント研究所)

ディスカッサー：福田 徹

(救急科専門医)

モデレーター：シュナック 千賀子

(スリーロック株式会社 取締役 コーティングファシリテーター)

お申込み

Peatix

URL : <https://peatix.com/event/3513314/view>



お問い合わせ

もっと幸せな医療研究会事務局

MAIL

mottoshiawasena@gmail.com

全国医療経営士 自主研究会

講演 豊島久雄氏

日本経済大学 ファーマシーマネジメント研究所 非常勤講師
第4回 医療経営に関する研究助成

医療現場では、医療者と患者さんの間で行動経済学的手法を用いて、検診の受診率向上や行動変容を促す取組が行われております。



ここには、ナッジ理論（注意を引くために肘で軽く突く）や損失回避バイアス（利得の喜びと損失の悲しみを比べると、損失の悲しみのほうが大きく感じる）が利用されている事例が多くあります。

今回は、身近な事例から、職場でのコミュニケーションを通じて、もっとWell-Beingになるために行動経済学を利用した観点を皆さんと考えてゆきたいと思います。



ディスカッサー 福田徹氏

元日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 救急科 医長
第10回 全国医療経営士実践研究大会【審査委員奨励賞】

モデレータ シュナック千賀子氏

スリーロック株式会社 取締役 コーティングファシリテーター
第4回 医療経営に関する研究助成

